

～ おいでませ、菊川町へ ～

【菊川地域】

【菊川地域の概要】

菊川町は、下関市のほぼ中央部に位置し、人口は7,231人(令和5年12月末)、面積83.78km²で、町全体が穏やかな山地に囲まれた盆地となっており、別名「小日本」と称されています。

盆地の中央部には、北から南へ木屋川、西から東へ田部川が流れ、町の中央で合流し、周囲の田畑を潤しています。

自然豊かで、春には桜が町全体に咲き誇り、秋には稲穂の黄金色に染まり、色とりどりの風景を楽しむことができます。



多武の峰公園から望む菊川盆地



歌野ダム周辺（千本桜）

町の中心部は、公共施設をはじめ、一年中泳ぐことができる「菊川温泉プール」や「菊川運動公園」などのスポーツ施設が集まる、自然と調和のとれた良好な田園住宅地域が広がっています。

交通面では、中国自動車道小月インターチェンジまで車で約7分、新下関駅まで約30分で行ける位置にあり、非常に恵まれた住みやすい地域でもあります。

観光面では、道の駅きくがわを拠点とし、桜の名所である「歌野川ダム周辺」や「多武の峰公園」、雄滝・雌滝2つの滝が緩やかな清流をつくる「中山溪」、地元食材を堪能できる「サングリーン菊川」、良質の温泉を満喫できる「温泉華陽」、自然豊かな菊川の名水が湧き出る「大迫名水」などがあります。

また、菊川地域の特産品で、山口県内唯一のそうめん「菊川手延そうめん」はのど越しがよく多くの方に愛されています。



菊川総合交流ターミナル（道の駅きくがわ）
河童ベンチ



菊川手延そうめん



中山溪



小日本ふるさと市